

令和7年度 江戸川区立松江第四中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	よく考えて自らすすんで学ぶ 体験を通して豊かな心を育む 健康でたくましく生き抜く		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	生徒の希望や夢を育む学校 よく学び 心ゆたかに たくましく 授業改善に努め、学びを継続し、人権を尊重し、人間性を高められる教師	
前年度までの本校の現状	成果	①基礎学力の向上（全国学調 R5自校比 国－14、数－8） ②不登校生徒、特別な支援を要する生徒への支援の充実（第二校内別室、別室支援員9名） ③体力の向上（都体力調査 全体 都比＋6.9 区比＋7.2）	課題	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ②不登校を生まない、安心して学べる魅力ある学校づくり ③教職員の働きやすさと働きがいの両立	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	全国、区の各学力調査の正答率を基礎データとし、教科や分野の理解度を分析し、授業改善につなげる。	区の学力調査において、前年度より高い正答率とする。											
		年3回校内研究授業で授業者の授業を参観する。また、相互参観期間を年2回設ける。	校内生徒評価における肯定的評価を80％以上とする。											
	＜外国語教育の推進＞ ・授業力の向上とALTの効果的な活用	・躊躇なく英語が使えるよう、少人数を活かしたスピーキング力の向上 ・英語検定の受験率向上	・英語を使っての会話力の実感（80％） ・英検受験者70名以上											
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	「よむYOMUワークシート」を活用する。また、読書を通じた探究的な学習の実施・充実を図る。	・「よむYOMUワークシート」を年30回以上実施する。 ・図書や探究的な学習にかかる生徒アンケートの肯定的評価を80％以上とする。											
体力向上	・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・単元の技能向上を意図した補助運動の実施 ・外遊びや部活動を通した運動体験の機会向上	・都体力調査において区都を上回る。											
	・すべての教育活動を通した生活習慣の改善	運動会に前向きに取り組む態度を育成する。	・事後アンケートや感想文から、多くの作文を紹介する。 ・終了後の学級活動で、学んだことを相互紹介し合い、相互尊重の意識を育む（6月）。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進	・SC、巡回心理士の情報共有と組織的支援 ・保護者との関係づくりと機関諸機関との連携 ・エンカレッジルーム、相談室の活用	・生徒・保護者の悩みが、教師やSCなどとの相談や面談、エンカレッジルームの活用によって縮減・解消できる（80％）											

[illegible]